

## 「隈之城小学校の『ふるさと隈之城について調べよう』の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立隈之城小学校

### 2 学年・人数

6年 112人

### 3 日時・場所

#### (1) 学習会等の日時・場所

- ・ 学習会：6月
- ・ 「ふるさと隈之城」について調べよう

#### (2) 発表の日時・場所

令和5年11月2日(木)  
薩摩川内市立隈之城小学校「くまっこフェスタ」

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### (1) 名称・時代

二福城跡（にふくじょう）、春日神社（かすがじんじゃ）、  
森殿原宝塔（もりどんぼるほうとう）、  
平礼石寺金剛院跡（ひられいしじこんごういん）

#### (2) 特徴

- ・ 二福城は、別名を隈之城といわれ、平安末期から鎌倉初期にかけて薩摩氏が、その後、島津氏、入来院氏、再び島津氏と城主がかわり、江戸初期に廃城となった。城内に、隈之城郷の地頭仮屋が置かれ、周辺に麓を形成した。なお、地頭仮屋は江戸時代初期、向田の仮屋馬場に移転した。
- ・ 春日神社は、奈良の春日大社を宮崎の先人が勧請し産土神として崇め、現在も歳旦祭、春の大祭（勸学祭）、夏越際（6月灯、相撲大会）、秋の大祭などが催される。なお、境内には、田の神4体、豊受の神、文久3年（1863年）の薩英戦争勝利祈願碑3基などがある。
- ・ 森殿原宝塔は、平安末期から鎌倉初期にかけてこの一帯を支配した平姓薩摩六郎直忠夫妻の墓（推定）。森稲妻神社の境内に多くの宝塔があった。また、この近くから縄文弥生時代の遺物が出土している。
- ・ 平礼石寺金剛院跡は、真言宗大乘院の末寺で、平安末期から江戸期まで、隈之城地方に大きな影響を及ぼした名刹で、敷地も広大であった。平安時代から鎌倉時代はこの地方を治めた薩摩氏が座主職であった。明治2年（1869年）廃仏毀釈で廃寺。跡地には、江戸時代、宮之城の仏師で有名な大磯作也作の石像（金剛院の本尊不動明王の脇侍）2体がある。

### 5 保存会や地域との連携の具体

ふるさと・コミュニケーション科の時間（児童対象）に、隈之城地区コミュニティ協議会が作成した「隈之城の歴史と文化財」を活用し、学習を進めた。また、分からなかった点については、濱田豊之先生にインタビューをし、隈之城の史跡や文化財について教えていただいた。また、児童をグループ分けし、郷土史の資料を調べたり、現地調査を行ったりした。その後「くまっこフェスタ」や川内南中校区小中一貫教育実践発表会での発表資料を作成した。

## 6 活用の取組の工夫した点

調査したことを報告する発表用プレゼンテーションを制作する際は、写真を活用して、一目で分かる資料作りを心掛けた。調べた感想なども発表できるようにした。

## 7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ パワーポイントで写真をたくさん使ったり，クイズにしたりして発表するなど，聞く人が興味を持ちやすいように工夫した。
- ・ 身近で見慣れた史跡でも，調べてみると歴史のある物だと分かったり，新しい発見があったりした。

### 【教員】

- ・ 普段，登下校で見ている史跡について，深く知ることができ，郷土について学び直すよい機会となった。
- ・ 郷土史の専門家を講師に学習する機会を設けられたのがよかった。

### 【地域の方から】

- ・ 地区コミが学校と連携し，隈之城の歴史と文化財について学ぶ機会を設けられたのがよかった。

## 9 参考文献

『隈之城の歴史と文化財』

発行年月 平成27年8月

発行 隈之城地区コミュニティ協議会